

トラクタに装着し落水口と本暗渠を簡易に施工できる排水管理設置装置

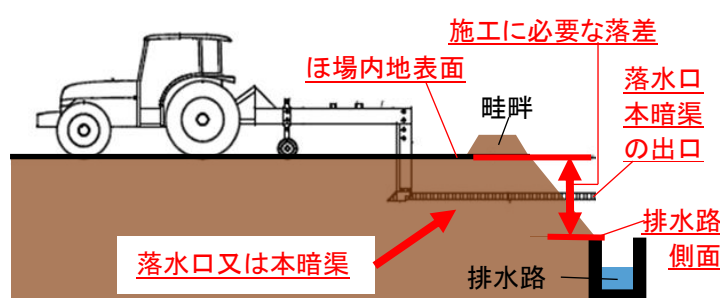
利用対象：土地利用型生産者、指導者

気候変動の影響により近年、増加している短時間豪雨が一因となり、水田転換畑に作付けされる県内の小麦・大豆の単収は低迷しています。対策として、雨水を迅速にほ場外へ排水できる落水口や本暗渠の設置が有効ですが、設置には重機等が必要となることから、生産者が自身で設置することは容易ではありません。

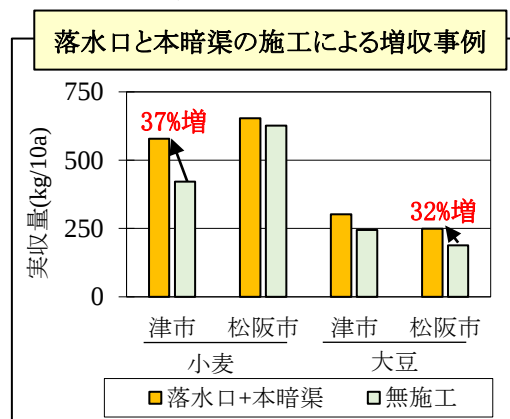
そこで、重機を使用せず生産者が排水性改善に取り組むことができるトラクタ作業機を開発しました。



- ◆**特徴①**：排水側畦畔の落差を利用して、重機で掘削せずに落水口と本暗渠を施工できます。
- ◆**特徴②**：作業に要する人員と時間は、落水口1箇所あたり作業員1名で7分程度、本暗渠1本（100m）あたり作業員2人で15分程度です。
- ◆**特徴③**：ほ場排水性が改善され、小麦作や大豆作での適期播種や増収が期待できます。



排水管理設の仕組み



お問い合わせ先	生産技術研究室 農産研究課 電話 0598-42-6359
参考になる資料	排水管理設置装置による落水口および本暗渠の施工手順書 https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001201494.pdf